令和５年度１年間の目標・取り組みの内容

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	(1)ＩＣＴの利活用・国公立大学への進学希望への対応・学校の特色を反映させた新教育課程を編成・運用する。 (2)情報や知識を統合して課題解決する力を育成するためのＩＣＴ利活用を推進する。	(1)生徒の「高い目標」設定と目標実現を支援する「文理両道」の視点による科学的・論理的思考力を育成する理数教育の推進及び教育課程の運用。 (2)ＩＣＴ利活用及び理数教育を推進し、情報活用能力の育成や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。	(1)理数探究基礎の設置（ＳＳＨ申請）に向けた準備を行う。 (2)公開研究授業や研究協議を通して、「個→協働→個」「内化→外化→内化」の構造を持つ授業に組織的に取り組む。また、１人１台端末の活用を促進するためＧｏｏｇｌｅ　Ｗｏｒｋｓｐａｃｅの活用法の研修を行い、積極的に活用する。	(1)理数探究基礎の実施に向けたカリキュラムの編成ができたか。 (2)生徒による授業評価項目３及び６の「４」の回答が 40％以上になったか。（課題解決について）また、生徒による授業評価項目８の「４」の回答が 40％以上になったか。（ＩＣＴの活用について）
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	(1)他人や自分を大切にし、社会の発展に貢献する力を育成する。 (2)学校行事や部活動を通して、他者と協力して課題を発見し、解決する力を育成する。	(1)「過ごしやすい学校生活」を送るために社会生活上での規範意識やマナー等、自己指導能力の育成を図る。 (2)教育相談体制を充実させ、報告、連絡、相談が速やかになされるようにする。	(1)学期の節目や学校行事などの機会をとらえ、生徒のルールやマナーに対する意識を喚起するとともに、生徒が自ら正しく判断し行動できるよう支援を行う。挨拶の励行やいじめ防止教育などを通じ、他人を思いやる気持ちを育てる。 (2)ＳＣ、ＳＳＷとの連携、ケース会議の視点による学年会議を推進する。	(1)　交通事故やマナー違反の発生件数を抑制できたか。いじめ防止に対する意識の向上が見られるようになったか。ＳＮＳ利用に関するトラブルを減少させることができたか。 (2)ＳＣ、ＳＳＷとの連携、ケース会議の視点による学年会議により、具体の生徒支援を実施できたか。
3	進路指導・支援	(1)生徒に自分の適性に気づかせる機会を多数提供し、進路を主体的に探究できる力を育成する。 (2)早期に自分の目標を見つけ、多くの生徒がその実現に向け努力しようとする意欲を育成する。 (3)国公立大学への進学者を増やす。	(1)理数教育を深化させるために、「総合的な探究の時間」と教科学習を連携させたカリキュラムを実施する。また、大学出張講義の内容を検討する。 (2)生田流「文武両道」「文理両道」を基に、生徒が高い目標を実現するための努力を継続的にできるような働きかけをより強化する。	(1)　各教科・科目の各単元において、課題研究につながる（探究テーマを示唆する）学習活動を行う。数学科においては他教科の領域と数学的手法との関連を積極的に取り扱う。 (2)スタディーサポートや模試、進路希望調査などのデータをもとに丁寧に面談を行い、継続的な個別指導の充実をはかる。	(1)各教科・科目において課題研究につながるような学習活動ができたか。生徒の課題発見能力・解決力を育むことができたか。数学科においては、他教科の領域と数学的手法との関連を積極的に取り扱うことができたか。 (2)面談期間や履修指導等を通して、個別指導の充実を図ることができたか。（生徒の面談実施率 90％以上）
4	地域等との協働	(1)学校運営協議会を活用し、教育活動の充実を図る。 (2)ＰＴＡとの連携におけるＩＣＴ利活用を推進する。 (3)ＨＰの更新頻度を高め、広報を丁寧かつ持続的に行う。	(1)学校運営協議会の活動を通して、理数教育の推進及び地域連携の強化を図る。 (1)小、中、高、大との地域連携を強化する。 (2)コロナ後のＰＴＡ活動の在り方を検討する。 (3)学校ＨＰを通して、外部のニーズに沿った情報発信を充実させる。	(1)学校運営協議会（年３回）の日程を早期から調整し、多数の委員による意見交換を充実させる。 (1)各種連携行事の開催又は積極参加を行う。 (2)会議の形態としてリモート、対面のメリットをそれぞれ活かした効率的な会議を行う。 (2)ＰＴＡ活動について、活動の効率化を図るため、行事等の精選を行う。 (3)学校ＨＰ等を通して、学校行事や部活動の活動状況の報告など広報の頻度増やす。	(1)学校運営協議会（年３回）を開催し、意見交換を充実させることができたか。 (1)各種連携行事の開催又は積極参加を実施できたか。 (2)会議の効率化、行事の精選ができたか。 (3)学校ＨＰで学校行事や部活動の活動状況の報告などの内容の充実や更新頻度を増やすことができたか。
5	学校管理 学校運営	(1)関連グループと密接な連携を図り、ＩＣＴ利活用のインフラや新たなコンテンツ導入を中心とした整備を行う。 (2)老朽化した施設の更新、エアコンの整備等により、安心安全な学習環境を整備する。 (3)防災意識を高め実践できる教育の推進を行う。	(1)ＩＣＴ利活用及び理数教育を推進し、情報活用能力を育成し発展させていくため、さらに活用しやすい通信環境、備品の整備等を行う。 (2)ＩＣＴ機器の不具合を点検し、更新の段取りを行う。 (3)避難訓練等により生徒の防災への意識を高める。	(1)特別教室等のＷｉｆｉ環境の改善を行う。 (2)ＩＣＴ機器の不具合への対応は常時行うが、特に学期末等の機会を捉えて未対応の軽度の不具合を把握する。 (3)円滑に避難できる避難経路の見直しを行う。	(1)通信状況の改善を行い、ＩＣＴの利活用の推進につなげられたか。 (2)ＩＣＴ機器を必要な時に不具合なく使用できたか。 (3)避難経路の見直しを行い、防災訓練において円滑に避難することができたか。